

令和7年度 第1回 草津市スポーツ推進審議会 会議録

■日時：

令和7年6月3日（火）18時00分～19時30分

■場所：

草津市役所 8階 大会議室

■出席委員：

岡本委員、杉田委員、平尾委員、中野委員、小川委員、稲田委員、吉野委員、庄司委員

■欠席委員：

小傳良委員、板坂委員

■事務局：

藤田教育長、奥谷理事、安藤副部長、
岩城副部長（国スポ・障スポ推進室長）
西田副部長（学校教育課長）
学校教育課 中村主査
スポーツ推進課 遠藤課長、高倉課長補佐

■傍聴者：

0名

1 開会

【事務局】

本日は大変お忙しい中、草津市スポーツ推進審議会に御出席を賜りましてありがとうございます。

日頃から委員の皆様方には、本市の教育行政、とりわけスポーツ行政の推進に格別の御支援と御協力を賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

本市では、令和3年3月に策定いたしました第2期の草津市スポーツ推進計画では、5つの基本方針に基づき、関係機関等の御支援もいただきながら、こどもから高齢者まで幅広い年齢の方々がスポーツを「する」、「みる」、「支える」、「知る」ということを、それぞれ自分に合った関わり方でスポーツに親しむことができるよう、様々な事業に取り組んできたところでございます。

この間の成果の1つとしましては、滋賀県民スポーツ大会では令和3年度の4位から、昨年度は2位と順位を上げることができたところでございます。

また、今年はいよいよ「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」が開催され、本市では11競技、14種目が開催をされることとなっております。一流選手のプレーを多くの市民の皆様にご覧いただくことで、スポーツに対する機運がさらに高まるものと大きく期待をしているところでございます。

一方で、計画策定後4年が経過をする中、またコロナ禍を経てスポーツを取り巻く環境は大きく変化をしております。国におきましては昨年12月から、令和4年から令和8年までの第3期スポーツ基本計画の中間評価が行われているようでございます。これまでの進捗状況と課題抽出を、部会を組織して現在整理されているところでもございます。

こういった中、今年度、本市におきましても、現スポーツ推進計画について、これまでの取組の成果や課題を検証していただくとともに、新たな課題や新たなニーズを中長期的に見据えた形で、第3期の草津市スポーツ推進計画の策定をしていきたいと考えているところでございます。

どうか、委員の皆様方におかれましては様々なお立場から御意見を頂戴して、今後のスポーツ推進の取組につなげていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げまして、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 委員自己紹介

3 審議会の位置づけ、公開について

別紙2、別紙3に基づき説明

4 諮問

5 審議案件

(1)第3期草津市スポーツ推進計画の策定について

【事務局】

資料2に基づき、第3期草津市スポーツ推進計画の策定について説明

【会長】

資料2を見ていただき、こちらから質問を受けていきたいと思う。

まず、2 ページ、国が第3期スポーツ基本計画を出し、各都道府県がこれを受けて推進計画を県レベルでつくっている。これはどちらかというと大枠の計画で、実際に住民と関わるのは市町なので、県が計画をつくっても、実際に市民とは関わり合えない。それを受けて、草津市はどういった取組をしていくのかということを具体的に整理をしたものが、現在、議論いただいている第3期草津市スポーツ推進計画である。

したがって、スポーツというと、やはり県レベルでいくと、「勝った」、「負けた」のような競技力イメージを誇張していく傾向もあるが、我々としては、勝敗も大事ではあるが、それ以上に幼児から高齢者の方々までがスポーツにどのように関わっていくのか、また、自分の健康づくりをどのように考えていくのかという意識を高めていくということが大事である。

また、今後どのように進めていくのかというのは、4 ページで整理をいただいている。

6 ページ以降では、評価をいただいております、特に「基本方針1 こどもの体力向上とスポーツ活動の推進」については、体力測定というところで目標達成しているのかどうかという評価になるが、達成したから良しというよりも、どう取り組んできたのかという過程も非常に大事なところかと思う。

また、「基本方針2 生涯スポーツ活動の推進」については、60歳代までの運動実施率が非常に低いということ。当初、この目標値65%が達成できるかという議論もあったが、修正をかけずにこの65%と、目標を少し高めに設定し進めてきている。やはり、30歳代、40歳代の運動実施率をいかに高めていくのかというのが、特に我々のこの委員会の課題かと思っている。

続いて、「基本方針3 競技スポーツの推進」であるが、県のレベルの中で3位に行けるのかどうかというのも、かなりこれまでに議論があったが、2位を取っていただいているので、非常に誇らしい結果かと思う。これは、競技という、「勝った」、「負けた」よりも、皆がスポーツ競技に関わっていく機会がかなり増えてきたことが、この結果に表れていると思っている。

また、「基本方針4 スポーツ環境の充実」であるが、新しいスポーツ施設が出来たので、住民の評価も高くなっていくかと思うが、まだすぐに改善、改修できない施設等もある。この辺りはサービスという視点でどのように支援していくのか、ただ施設が新しければ満足していただけるものではないかと思うので、どのようなサービスをしていくのかというソフトの面も、今後課題になると思っている。

それでは、小学校の児童について、女性の点数が少し低いというのが出てきており、低いのが問題ではないとは思いますが、その辺の取組の紹介、あるいは可能性をお話ししていただけたらと思う。

【委員】

草津市では、体力向上プロジェクトに取り組んでおり、運動好きのこどもを育ててきているところである。

本年度以降の取組の中でも、例えば6月に「なわとびチャレンジ」ということで、小学3～6年生のこどもたちを対象に、なわとびを3分間でどれだけ跳べるかを競う計画をしている。本校では、すべての小学3～5年生の参加を予定しており、現在も休み時間等も利用しながら、こどもたちが一生懸命練習をしているので、運動が好き、やりたいだとか主体的な取組しているところである。

併せて、体力向上に関しては、様々な「チャレンジタイム」を開発しており、体育の授業の最初のちょっとした時間を使って、運動遊び的な要素、ゲーム的な要素を取り入れながら、こどもたちが楽しみながら体力をつけていくという取組をしているところである。

また、学校では体育の授業が中心になるので、先生方の指導力の向上が必要かということで、夏休み研修を実施し、小学校でも体育主任の先生方を中心に、各校だけではなくて、草津市全体で取組をしているところで、そういう取組をしながら、まずは運動好きのこどもたちを育てながら、体力がついていくような取組をしているところである。

【会長】

運動好きのこどもを育成していくという中で、今回の国スポでは、競技見学はどのように計画しているのか。

【事務局】

小学校、中学校の学校観戦を計画しており、その調整をしている。あと、スポーツ少年団の希望する団体については、席を確保するなどの調整をしている。

また、スポーツを親しんでもらうために、学校に出向き、スポーツ体験をしていただいたり、野球教室やバレーボール教室を実施し、6月21日にはイオンモールで100日前イベントとして滋賀レイクスを呼び、バスケットボールについてのトークをしてもらう。

いろいろな人に来ていただきたいので、お笑いの方に来ていただき、楽しみながらスポーツに親しんでいただくという計画をしている。

【会長】

そういった機会が、運動好きのこどもを増やすというところにつながっていけば良いと願っている。

あと、5ページであるが、第2期スポーツ推進計画を進めている中で、途中で国が中学校の部活動の地域移行について、思い切った提案をしてきている。

その中で、全国を見ると、地域移行を受けて、実施するという市もあれば、そうではないところもあり、差がかなり出てきている。例えば、神戸市は新しい仕組みをつくり実施する

という事で、人口が多く予算もあるので、それなりにできるだろうとは思いますが、人口の少ない市町になると、なかなか引き受けられない。地域の協力も得てこないと、地域移行は難しいというところもある。

現在、中学校はどのような状況なのか。現在の動向をお聞かせいただけたらと思う。

【委員】

基本的に草津市内の中学校は、各中学校の教員が中心となって部活動の指導をしているという形を採っている。

さらに部活動の指導員、支援員については、地域や地元の方に指導の協力いただきながら練習等の充実を図っており、休日等の練習についてもお力添えをいただいているところでもあり、部活動終了時間、練習回数の曜日等も選定しながら部活動を運営されている現状である。

【会長】

今後も現在のスタイルをある程度続けていくという方針として、この委員会で理解しておいて良いか。

【委員】

そこはまだ最終的に明確というわけではないので、今後も様子等も見ながら考えていくところである。

【事務局】

部活動については、国では地域移行を地域展開という言葉に換えて扱っているところであるが、草津市としては、完全に地域のクラブチームや企業等に任せるという状況は難しいと考えており、地域連携という形で今後も部活動を維持したいと考えている。

しかしながら、地域の皆様方と一緒に部活動を進めていきたい思いもあるので、部活動指導員・部活動支援員に学校へ入っていただいている中で、今後、人数を増やしていければと考えているところである。

【会長】

非常に大事なところで、先生方ばかりではなく、住民の方々にも御理解いただき、支援していただかないと進めていけないというところがあるかと思う。

その辺が今回のアンケートも含めて、それを受けて新しい提案をしていくときに、非常に重要な箇所になってくるかと思っている。

もう一つ、皆様方に御理解していただきたいのは、審判がいなくなってくるという問題が生じる。子どもたちが競技に出ても試合が成り立たない。審判をやっていただく先生方が

いなくなってくると、何のためにスポーツやっているのだということも出てくる。

ただ単に指導していくわけではなく、試合も支えていく上で、みんなで応援していくといった姿勢も大事になってくるかと思う。その辺を含めて、今後新しい計画の中に組み込んでいけたらと思っている。

(2)草津市のスポーツの推進に関するアンケート調査について

【事務局】

資料3、4、5、6に基づき、草津市のスポーツの推進に関するアンケート調査について説明

【会長】

まず、小学生・中学生の調査票だが、小学生だったら理解できるのか、正直分からない。

例えば、6ページの問19であるが、選択肢がこれだけで良いのか、もっと必要なのか。全然イメージが持てない。

事務局からは、アンケートを進める上で、先生方が横についていただくと聞いている。

【委員】

L-GATEでの配信と聞いている。

確かに先ほど意見のあった、問19等の内容を見ると、5年生といえども、ぱっと理解できるこどももいれば、説明をある程度していけないといけないところもあるかと思う。

あと、問12と問20は、L-GATEでどのような画面で出るか分からないので、時間は要するかと。担任の先生に説明はしながら実施していけないかと思う。

【会長】

選択肢が多いためか。

【委員】

紙面で見れば一面であるが、L-GATEのタブレットの画面でぱっと出てくるのがネックで、その辺のフォローも必要になってくると思う。

【事務局】

項目が多いという意見であるが、今回、このアンケートを作成するにあたり、「こういうこともスポーツなんだ」と気づいていただきたいという思いもあり、少し選択肢が多いかと思うが、このように並べているところである。ニュースポーツなど様々なスポーツが出てきており、少しでも広めていきたいという思いで掲載している。

【会長】

このサイトは、ある程度触りやすいようにレイアウトされるのか。

【事務局】

そこについては工夫していきたい。

【会長】

総合型地域スポーツクラブ（くさつ健・交クラブ）の設問も入っているが、何か意見はあるか。

【委員】

総合型地域スポーツクラブ（くさつ健・交クラブ）の認知度が前回より低下しているという結果が出てくるのではないかとと思っている。

と言うのは、今までは「くさつ健・交クラブ」のこども向けの行事をする場合は、こどもに直接紙ベースで渡して家に持って帰ってもらい、保護者と相談して参加するかどうかという形で事業を進めてきたが、現在はペーパーレスになり、直接こどもには事業の内容が行き渡っていない。

【会長】

さきほどの意見を質問項目に入れても良いと思うが、事務局で検討していただけないか。

【事務局】

検討させていただく。

【会長】

中学生も調査票について意見はあるか。

【委員】

質問数はこれぐらいで良いかと思っている。

【会長】

今後分析していくなかで、男女の特徴を示せれば良い。女子の運動実施率を高めていくためにはどうしたら良いのかというのが課題であるので、女子の特徴を見れば、どういったところに支援していけば良いのかというのが見えてくると思う。

【委員】

小学生調査票５ページの問１３「どのようにスポーツや運動（体を動かす遊びを含む）をしていますか」という項目で、選択肢の１番が「学校のクラブ活動」で、２番以降はスポ少であったりクラブチームであったり、学校外での運動が記載されているが、１番「学校のクラブ活動」と限定をして良いのか。

クラブ活動といっても、どの小学校も現在、年１０回程度の活動しかしていないことを考えると、学校での運動もここに入れるとすれば体育、休み時間があり、クラブ活動に限定しなくても良いのではないか。

【事務局】

構成として、問１３は問１０から始まっているが、問１０が「学校の休み時間（長休み・昼休み）にスポーツや運動（体を動かす遊びを含む）をしていますか」で、問１１が「学校の休み時間や体育の授業以外でスポーツや運動（体を動かす遊びを含む）をしていますか」となっており、問１１の詳細を問１２、問１３で聞くという立てつけになっている。

【委員】

承知した。

【会長】

次に、スポーツ関係団体であるが、質問、意見等はあるか。

「スポーツ団体ガバナンスコード」という言葉は聞いたことはあるか。

【委員】

正直分からなかった。

【会長】

これは文科省がスポーツ少年団も含めて言っているところであるが、本当に伝わるのかというのがある。

スポーツ団体ガバナンスコードという言葉聞いたことがあるか。

【委員】

初めて聞いた気がする。

【会長】

そうだと思う。

総合型地域スポーツクラブも言われているが、聞いたことはあるか。

【委員】

自分たちの団体としては、いろいろなことを考えている。

【会長】

承知した。特に総合型地域スポーツクラブの場合はそういう基準をしっかりとつくり、金銭の面もきちんとやっていくというルールである。

【委員】

問12だが、スポーツや運動を1から43まで挙げているが、小学校5年でこれだけやっているのか。

こども、大人でも関心がないというのも1つあり、こどもはテレビでしか関係がない。滋賀県という地域で見ると、実際に実施しているのを見る機会が少ないのではないかと思う。

今年は国民スポーツ大会があるので、見る機会が増えて、興味が出てくると思うが、もう少し絞っても良いのかと思う。もし実施しているのであれば、「その他」で書いてもらえるようにしたほうが良いのではないか。

【会長】

今からでも順番を変えることはできるのか。

【事務局】

順番は今からでも変えられる。

【会長】

さきほどの御意見だと、こどもが実施しているものを上から順番に並べていった方が良いのかもしれない。

【事務局】

承知した。

【会長】

順番を入れ替えるだけで改善できるかもしれないと、意見を受けて感じた。

あと、ガバナンスコードであるが、アスタリスクつけて、適切な組織運営など、すこし補足しても良いのではないか。

【事務局】

承知した。

【会長】

何か気づいたことはあるか。

【委員】

スポーツ団体ガバナンスコードのセルフチェックの実施状況というのがなじみがなく、分からなかったなので、回答した後に結局どういったものだったのかというのを知れたら良いと思った。

【会長】

自己評価、理事会、評議委員会の在り方みたいなキーワードを入れるだけでイメージが湧くかと。

【事務局】

アンケートを実施する団体は普段から接しているので、役員に対し、そういったものをどう取り扱うのかといったところも、このアンケートの結果を基にしてヒアリング等も実施しながら、今後の展開を考えていきたい。

【委員】

問17のボランティアスタッフというのは、どういう方を指すのか。スポーツ少年団では、練習のお手伝いだとか、駐車場の案内だとかを保護者に頼んだりしているが、そういうのはボランティアスタッフになるのか。

【事務局】

お見込みの通りである。

一例で言うと、大会開催時に人手が足りないので、さきほど意見のあった誘導員だとか、そういったボランティアが必要かというようなものをイメージしている。

また、保護者に限らず、スポーツの関わり方として「支える」ということも掲げており、地域の方で、ボランティアのような形で関わりたいという人もおり、そういった人になるべく拾っていききたいという思いでこの質問項目は置いている。

【委員】

野球を実施しているスポーツ少年団で言うと、軟式野球連盟等が主催する大会は傘下の加盟団体のチームから運営スタッフを出すというのがあり、それをボランティアとして

位置づけるのか。それは野球の関係者なのでならないと思うが、さきほど意見のあった所属チーム以外の第三者については、チームとしてそういう人に声をかける術は全然ない。したがって、さきほどの意見は若干ずれているというか、現実的なことではないのではないかなと思う。

【事務局】

一例で申しあげただけで、幅広くいろいろなケースがあると思う。

【会長】

これは、市の陸上競技協会やサッカー協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団にアンケートを実施するのか。

【事務局】

お見込みの通りである。

【会長】

したがって、ここで聞きたいのは、自分のチームのお手伝いではなく、大会運営に関わるボランティアということか。

【事務局】

そうであったり、大会ではないイベント等を開催するときであったり、日頃の活動全般を幅広く想定している。

【委員】

国スポ・障スポであれば、ボランティアの募集をされていたので。それで応募してきたような方たちのことを言っているのか。

【事務局】

お見込みの通りで、そういうイメージを持っている。

【委員】

スポーツ少年団を運営している人たちだと、そういう募集の仕方はできないと思う。どこかに貼り紙をして、大会運営のお手伝いを募集するといって、それを見て来てくれると良いが、その辺はどうなのかと思う。

【事務局】

ここの質問の意図としては、スポーツ関係団体がボランティアスタッフを必要としているのかどうかを把握したいと思っており、必要としていれば、募集ができていないだとか、集まっていないのであれば、それを受けて、どうしたら良いのかとか考える材料にしたいといった、そういったための現状把握をしたいというところである。

【委員】

市単位の団体であれば、身内で賄える規模の大会しか実施しないので、こういった呼びかけは恐らくどの団体も実施したことがないと思う。県単位の大きい大会であれば、スタッフ要請ということで呼びかけもされるであろうが。

【委員】

連盟の傘下にいる所属チームに声をかけて、スタッフの要請をする。

【委員】

保護者で賄えるので、呼びかけも実施しておらず、実施する必要もないというのが現状である。

【会長】

さきほどの意見を受けて、4番目の選択肢を作れば良いのではないか。

【事務局】

承知した。

【会長】

呼びかけて集まってきている「配置」の意味なのか。

【委員】

募集しているかどうかという「配置」よりも、募集しているのかどうか。

【会長】

そのほうが良いのかもしれない。

【事務局】

まず募集しているかどうか。

【会長】

この設問について、検討させていただいた方が良いのではないかな。

【事務局】

承知した。

【会長】

6日からアンケートを開始するのか。

【事務局】

前回の審議会です承をいただいた18歳以上の市民3,000人へのアンケートについては6月6日からである。

本日説明させていただいたことも向けとスポーツ関係団体向けについては、本日いただいた意見を踏まえて整理した上で、速やかに実施したいと考えている。

【会長】

そうしたら、何か意見があれば事務局にいただきたい。会議ができないので、私と事務局である程度調整するということで良いかな。

会議でもう一回諮らないという認識で良いかな。

【事務局】

お見込みの通りである。

【会長】

それでは事務局と私に一任をいただき、小学生・中学生、スポーツ関係団体の調査票は、もう一度整理して進めていくということで了解いただいて良いかな。

(「異議なし」の声あり。)

【会長】

そうしたら、国スポについて少しアナウンスをいただけたらと思う。

【事務局】

ボランティアについては、1,000人を目標にしており、1,000人は無事超えることができた。

さきほど議論のあったボランティアスタッフ関係について、集まった1,000人のボランティアを、今後どのように生かして、活躍してくれるような場、また活用される団体も良いし、ボランティアをする人にとっても良いという、お互いが満足できるような関係で、ボランティアの方がスポーツにずっと関わっていけたらという部分があるので、アンケートの中に入っていると思っている。

また、現在の国スポの状況であるが、デモスポが既に始まっており、5月18日に「スポーツウエルネス吹矢」がYMITであり、167名に参加いただいた。「ノルディック・ウォーク」は5月24日、草津川跡地公園のd e 愛ひろばからの出発で、小雨の中で実施したが、150名に集まっていた。

今回、この方々にアンケートを採っており、80%が50代以上であるが、この方々は週1回30分以上の運動を72%の方が実施されていた。どういうきっかけで参加したのか聞いたところ、市のホームページやチラシというのも当然あり、友人に誘われたとか、家族に誘われた、あと、まちづくりセンターで体験会に参加された等で、実際に実施している方から競技の良さを習ったり、実際にやってみたりというのがあり、それが効果的であるとアンケートを見て感じている。

今後、8月3日にはデモスポの「インディアカ」が開催され、9月6日からAS、アーティスティック・スイミングが10月7日まである。草津市としては競技関係者も含めて、5万人の来場を達成できたらと見ているので、皆様の御協力もいただけたらと思う。

また、地元のことも知ってもらおうということもあるので、選手、監督等関係者の方が食べるお弁当のパッケージは、立命館大学の琵琶湖漫画研究会の学生に制作をお願いし、草津宿本陣の前の「たび丸」や市の花・木であるアオバナやキンモクセイが書かれたパッケージになっており、そこに観光サイトにつながるQRコードをつけて、観光のPRもしたいと思っている。

【会長】

おもてなしについて、草津では何か企画しているのか。

【事務局】

無料で市の食べ物を配布し、PRしたいと思っている。

あと、草津駅・南草津駅に降り立ったときに、協賛企業による歓迎装飾ができています。

【会長】

国スポではおもてなしの注目がかなり高く、草津に来られた方々が、皆思い出になってお帰りになるだろうと思う。事務局は大変かと思うが、頑張っていたきたい。

あと、道路沿いに旗を出すと思うが、会場以外のところでも出すのか。

【事務局】

お見込みの通り、そこも計画している。

【会長】

佐賀の国スポでは、会場がどこかわからないという競技場も幾つかあったので、そうならないように実施していただけたと思う。

【事務局】

佐賀にも視察に行ったが、佐賀市は広く、いろいろな問題が視察して分かったので、それを改善点として実施していきたい。

【事務局】

委員各位におかれましては慎重な御審議をいただき、感謝申し上げます。

本日いただいた意見を参考にしながら、アンケート調査について、会長と相談をしながら作成をしていきたい。

なお、今年度は本日を含めまして全4回の審議会を予定しており、より一層、本市のスポーツ推進につながるよう、皆様の意見をいただきながら取り組んでいきたいと思うので、引き続きよろしくお願いする。

6 閉会

【事務局】

本日は長時間にわたり、貴重な御意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

また、本日、国スポの話が出ましたが、1,000人のボランティアの方、そして企業の協賛といったところで、このスポーツというのは、皆様にとって魅力的なものなのだと思います。スポーツを通じたまちづくりはすごく可能性があると思っており、委員の皆様の協力をいただきながら、良いスポーツ推進計画を策定してまいりたいと思っておりますので、どうか引き続き御協力をよろしくお願いいたします。

あと、先ほど6月21日に国スポの100日前イベントをイオンモールの草津で開催し、7月末の土曜日に烏丸半島で「草津ヨシ松明まつり」でも強化イベントを実施させていただきたいと思っておりますので、ぜひそちらのほうにもお越しいただければと思っております。

本日はどうもありがとうございました。

以上。